

# りす俱樂部

2019 年  
6 月号  
第 272 号



## 理不尽な別れ

あどけない微笑みの幼子、慈愛深い母親、道一筋真面目人生の方々が、暴走車、凶器の暴漢に襲われ、一瞬のうちに命を奪われる現場が惨い。神様仏様が、天国・極楽浄土を約束されているのなら、何故に凄惨な死を与えるのか、理不尽この上ない。手向の薔薇の花びらに、雨が、涙となって降り止まない。

弁護士 福井大海

最高法規「憲法」を蔑ろにする国に

明るい未来はない!!

NPO りすシステム相談役 松島如戒

1946年（昭和21年）11月3日に公布され、翌1947年5月3日施行された日本国憲法は、本年5月3日、満72歳の誕生日を迎えました。

1937年生まれの私は、日本国憲法より10歳年長です。幼い頃から、この憲法は押付けだとか、理想主義に走りすぎで日本の現実にとぐわないなど、一部の日本国民からの罵詈雑言がありました。が、多数の日本国民からは愛され尊ばれ、一度も改憲の憂き目にあうことなく護り続けられてきたことを、日本国民、否地球人の1人として誇りに思っています。

私は日本国憲法が好きです。内容は言うに及ばずですが、「文体」「語調」が身震いするほど感動的です。「誓ふ」「負ふ」「ないやうに」

など、文語体が混ざっていることも語調の良さを際立たせているのかも知れません。

さらにこの憲法からは、先の戦争で多数の同胞に加え我が国が侵略した、特にアジア諸国民の犠牲に対し、悲痛なまでの反省と懺悔の思いがひしひしと伝わってくるからだと感じています。

### 1. 憲法を蔑ろにする政治家は

馬に蹴られて死んじまえ!

かねてより私は、公務員、政治家を生業とする者の第一条件は、国を運営する基本理念であり基本ルールである日本国憲法を良く理解し、「この憲法を尊重し擁護する義務」（憲法第99条）を果たすことだと考えています。

この一丁目一番地をクリアでき

ない、しない者を、絶対に公務員として選挙で選んではなりません。

如戒流政治家の資格基準に照らしてみると、安倍晋三さんなどは総理大臣どころか、市町村の議員にすら選ばれる資格はありません。

成蹊大学で政治学史を安倍さんに教えた、成蹊大学名誉教授の加藤節氏の、安倍総理に対するコメントが毎日新聞（2019年6月4日付）に掲載されました。安倍総理の改憲論に警鐘を鳴らしています。

「二国の首相の『理想』が改憲だなどということは恥ずかしいことです。そもそも憲法の理念に現実を近づける努力をせず、憲法を現実に合わせてるのはいかなものか。自衛隊を条文に書き込めばいいだなんてあまりに発想が安直です」

安倍さん、あなたは学生時代、加藤先生の授業をどのように受け、どんな点数をいただいたのでしょうか。

## 2. 安倍さんと大の仲良し

### トランプ大統領と合衆国憲法

アメリカ大統領は、合衆国憲法の規定により職務を執行する前に、「私は合衆国大統領の職務を忠実に遂行し、全力を尽して

合衆国憲法を維持、保護、擁護することを厳粛に誓う（もしくは確約する）」との宣誓（oath）、または確約（affirmation）をする義務があるそうです。

日本国憲法第99条にも、「この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ」と規定されているにも関わらず、尊重しないばかりか擁護する気もない人物を総理大臣に選んでいるのが我が日本国の現実です。

### 3. 丸山穂高衆議院議員の言動は憲法違反

「北方四島びざなし交流」イベントに、衆議院の特別委員会の推薦により参加していた、丸山穂高衆議院議員の現地での言動が話題になっています。酒を飲み酔っぱらった挙句の数々の暴言については言語道断、論ずるに値しませんが、憲法違反については断じて許し難いと思っています。

丸山議員は、「北方領土は戦争によって失ったものだから、戦争によって取り返さなければならぬ」と、同席した訪問団体の役員に同意を求め、求められた人も困惑したとの主旨の報道がありました。

今さら言うまでもないことですが、我が国は憲法第9条1項で「国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する」、

2項で「陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない」と規定し、日本は戦争をしない国であることを高々と謳い上げています。

にもかかわらず丸山議員は、北方領土は戦争によって取り戻さなければならないと公言した、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ（第99条）の規定に違反しています。

日本国憲法は日本の法体系における最高法規であり、憲法に違反する法律の制定を禁じ、最高裁判所には「違憲立法審査権」が付与されていますが、個々の規定の違反行為についての処罰規定はありません。よって、直ちに丸山議員を罰することはできません。国民感情、否れ自身、丸山議員の憲法違反及び破廉恥な言動に対し、直ちに議員を免職したいと憤っています。

国会で、与野党で提案した糾弾決議が全会一致で可決されましたが、この採決に小泉進次郎議員が欠席したことについて考えてみました。小泉議員の真意が奈辺にあるかわかりませんが、結果として私は小泉議員の行動を支持します。

丸山議員のケースでは、どう考えても国会議員の職に留まることは許されな





いますが、**国民固有の権利（憲法第15条）**

として、**公務員・政治家選出、罷免権**がありますので、先ずは丸山議員を選出した大阪19区の選挙民の方々が、選出責任を感じて罷免の動きをすることだと思います。

何故ならば、多数を持っている政党が、あの議員は問題があるから議会から排除しようという風潮が常態化することは、健全な民主主義国家として、あつてはならないことだと思うからです。

しつこいようですが、「戦争で領土を取り戻す」という発言は極めて深刻です。「侵略戦争」を仕掛けようとの主旨だと私は理解しました。丸山議員の所属していた政党にそのような考えを持つ人がいるのかいないのかも、気になります。

それにしても、今日の日本では、有権者、即ち国民の品格の前に「質」が問われていると思うと悲しくなります。

#### 4. 日本国憲法はすばらしい！

私は日本国憲法の信奉者の一人です。この憲法を愛し、いとおしく思っています。この憲法に書いてあることが全て実現すれば、日本は夢の国となるでしょう。

憲法については中学校で教わりました。憲法は為政者つまり権力を持ち、民を支配することのできる人々の手足を縛るため、統治される側の民草が勝ち取った鎖です。ただし、この鎖の乱用は許されません。

中学1年の授業で、こんなこともありました。社会科の教師から、「この憲法は、GHQ（進駐軍）の押付けだと非難する人もいますが、仮にそうであったとしても、統治される側の我々一人ひとりにとって、不都合・不利益なことが書かれているでしょうか。みなでこの憲法を、声を出して読んでみましょう」と提案があり、クラス全員で読み上げました。

憲法の前文から第99条までを読み終え、一瞬沈黙の時間があり、その後私は拍手をし、クラス全員が興奮状態になりました。もちろん、すべての条文の意味が理解できた訳ではありませんでしたが、教師から、「この憲法は大東亜戦争で300万人以上の戦死者、空襲などで亡くなった一般の国民の、多くの犠牲の上にでき上ったものである」との話を聞いた後の朗読だったので、それも影響していたと思います。

それから70余年の歳月を経て、より一層憲法に親しんでいます。中学1年のあの授業の感動が、昨日のことのようによみがえってきます。

私も間もなく82歳を迎えますが、改めて憲法を読んでみると、国民にこの憲法を護ることを強制はしていません。憲法には国民一人ひとりの人間としての尊厳を保障し、この国に生まれ存在していることの幸福感を享受するための、各種権利が保障されているのです。

ところが自民党の「日本国憲法改正草案」（2012）では、第102条1項で、「全て国民は、この憲法を尊重しなければならない」とあり、公務員の憲法尊重・擁護義務は第2項へ。さらに現行憲法第99条「天皇の憲法尊重擁護義務」は削除されています。自民党の考え方では、天皇は憲法を守らなくてよいということになります。

因みに、この憲法改正草案第1条は、「天皇は、日本国の元首であり、日本国及び日本国民統合の象徴であつて、その地位は、主権の存する日本国民の総意に基づく」と

なっています。現行憲法では、「天皇は、日本国の象徴であり日本国民統合の象徴であつて、この地位は、主権の存する日本国民の総意に基く」です。

恐ろしいと思いませんか。憲法を蔑ろにした国家元首が統治する、日本国の将来を想像してみてください。自民党は専制君主国家をめざしているのでしょうか。身の毛がよだつ思いがします。

それに引き換え現行憲法は次のように、国民の権利の保障を規定した条文が続きます。憲法は国民の権利法ですから、義務を課す必要はなかったのですが、自民党の改正草案は、国民に対し様々な義務を課することが理念となつていきますので、国民に憲法を守れと命令することになるのです。

私は、自民党の改正法案は国の形を変え、国民を不幸にするものだと思います。

第11条「基本的人権」、第13条「幸福追求権の尊重」、第14条「法の下での平等」、第15条「国の運営を司る公務員を選ぶ権利」、第16条「公務員を罷免するなどを請願する権利」、第17条「公務員の不法行為による損害賠償請求権」、第18条「奴隷的拘束

苦役からの自由権」、そして第19条では「思想及び良心の自由は、これを侵してはならない」としています。

第20条「信教の自由」、第21条「集会、結社等表現の自由」、第22条「居住・職業選択の自由」、第23条「学問の自由」、第24条「個人の尊厳と両性の平等」、第25条「国家の国民に対する生存権保障義務」、第26条「子どもが教育を受ける権利」の裏側に、「親の子に対する教育を受けさせる義務」があります。

第27条「国民は勤労の権利を有し、同時に義務を負う」、第28条「勤労者の団結権」、第29条「財産権の保障」、第32条「裁判を受ける権利」、第33条「正当な理由なく逮捕されない保障」、第34条「正当な理由なく抑留・拘禁されない保障」、第35条「正当な理由なく住居侵入・搜索・押収されない保障」、第36条「拷問及び残虐な刑罰を受けなくてよい権利」、第37条「刑事被告人になつても与えられる権利」、第38条「自己に不利な供述の強要の禁止」、第39条「刑法法規の不遡及（法律が出来る前の行為は処罰されない）」、第40条「裁判で無罪が確定したときは国に対し補償を求める権利」

これだけ多くの国民の権利を保障していると同時に、権利に比べてほんの少しの義務の規定もあります。それは第30条で規定されている「納税の義務」です。また第12条では「自由・権利の保障に対し、権利の濫用を禁じ、公共の福祉のために利用する責任」を規定しています。

また、第26条の教育を受ける権利と同時に、親は子どもに教育を受けさせる義務があります。第27条では勤労の権利を保障すると同時に、働くことを義務付けています。

このように憲法の規定の多くは、国家の国民に対する義務を規定し、その担保として第99条で、「公務員はこの憲法を尊重し擁護する義務を負ふ」としています。これは、憲法の規定を絵に描いた餅にしないためのダメ押しの規定です。

5. 国の政治を「私物化」しようとする  
為政者は、この憲法を変えたいと

思うだろう...

この憲法を忠実に護つて、国を治めてくれる為政者を私たち国民が選んでいれば、日本国、そしてそこに生きている私たちは、もつともっとハッピーになつたであろうことは、言を俟ちません。

この憲法が誕生して間もなくの頃から、この憲法を為政者にとつて都合のいいものに変えようという動きは既にありました。

その目的は、軍隊を持ち戦争のできる国にしたい、その前提として戦前の家族制度を復活させ、憲法に国民の義務をたくさん盛り込みたい、さらに戦争をするためには、ハガキ1枚（召集令状）で兵隊を集めることのできる国民皆兵、徴兵制度を導入したい、といったところではないでしょうか。

2012年4月に発表された自民党の、「日本国憲法改正草案」を一読すると、明治憲法への復古願望がひしひしと感じ取れます。

一例を上げますと、改正草案第24条1項「家族は、社会の自然かつ基礎的な単位として、尊重される。家族は、互いに助け合わなければならない」とありますが、「尊重される」って、誰から尊重されるのでしょうか。

現行憲法同条2項「配偶者の選択、財産権、相続、住居の選定、離婚並びに婚姻及び家族に関するその他の事項に関しては、法律は、個人の尊厳と両性の本質的平等に立脚して、制定されなければならない」と

あるうち、草案では、「配偶者の選択」「住居の選定」が削除されています。この2点は極めて重要な規定です。

旧民法第749条は「家族ハ戸主ノ意ニ反シテ其居所ヲ定ムルコトヲ得ス 2 家族力前項ノ規定ニ違反シテ戸主ノ指定シタル居所ニ在ラサル間ハ戸主ハ之ニ対シテ扶養ノ義務ヲ免ル」と規定し、「住居の選定」の自由を禁じていました。2項の罰則規定がすごいと思いませんか。

旧民法では唯一と言ってよいくらいの戸主の義務として、「家族の扶養義務」の規定がありました。この第749条は、戸主の言うことを聞かずに勝手に住居を決めた者は、養ってやらなくてよいというものです。

現行憲法制定に際し、個人の尊厳、自由の享受を認めるために、敢えて規定したのがこの「住居の選定」の自由だったと私は理解しています。

「配偶者の選択」も、旧民法第750条では、「家族力婚姻又ハ養子縁組ヲ為スニハ戸主ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス」と規定し、婚姻には戸主の同意が必要とされていました。現行民法ではこの規定の排除をするため「配偶者の選択」を設けたのですが、改

正草案ではこれも削除しています。

現行憲法第24条1項に「婚姻は、両性の合意のみ（強調…りす俱樂部編集部）に基いて成立し…」とありますが、この「のみ」も削除してあります。そうすることで、当事者の合意以外に、何者かの許可や承諾といったことを法律で決めることができます。

明治民法は戸主の権限として、「婚姻の承諾権」を持っていましたから、戸主の許可がない婚姻は法律婚として認められませんでした。妻に対し、「子なきは去れ」といった暴挙がまかり通っていた時代です。

「子どもを3人産め」などの政治家の発言は、自民党のめざす憲法改正を前提にしていると考えるのは深読みが過ぎるでしょうか。今日の医学では、不妊の原因は男性側にあるケースも多いと聞きます。

改正草案第24条1項に追加されているのは、家族に対する扶養の義務化を目論むような規定と考えます。自民党の憲法改正の問題点は第9条だけではなく、この24条と対になって、反民主主義への回帰となっていると私は理解しています。

「ドサクサにまぎれて…」と言いますが、油断もスキありません。



## 6. 憲法9条の改憲に絶対反対

こんなことを言ったって、犬の遠吠えでしかないことを分かった上で、あえて叫び続けます。

安倍晋三さんが成蹊大学で教わった、加藤節名誉教授のコメントについて3で紹介しましたが、憲法改正を目的化すること自体が問題で、政治家としての資質を欠いていると思います。

既にくどくど述べてきましたが、憲法は民主主義国家の国民に与えられた、為政者をシバる鎖だと私は考えています。シバラしる側が、鎖が悪い、否シバラれることがイヤ、などというのは言語道断の極みです。加藤節名誉教授のコメントにあるように、「政治は憲法の理念や規定に現実を近づけるプロセス」だと思います。私はこのような切り口で、9条の改正問題をとらえています。

「陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない」という憲法を持つ我が国の軍事力は、スウェーデンのシンクタンク、ストックホルム国際平和研究所の集計（2018年）によると、ランキング9位の466億ドルだそうです。

ダントツの1位は米国6490億ドル、

2位中国2500億ドル、3位サウジアラビア676億ドル、4位インド665億ドル、5位フランス638億ドル、6位ロシア614億ドル、7位英国500億ドル、8位ドイツ495億ドル、そして9位が日本で466億ドル、10位韓国431億ドルとなっています。

犬の遠吠えでしかないという理由を、お話しします。日本が戦争で米国に負け、米国の属国になっているからです。1945年8月15日全面降伏し、1952年4月にはサンフランシスコ平和条約が発効、形の上では独立国となりましたが、実は米国は日本に対し、形は独立国だが軍事面では永久に占領を続けることを条件にしたと言われています。

それは、沖縄の現状を見れば火を見るよりも明らかです。サンフランシスコ平和条約については、全面講和か部分講和かで、日本国内でも世論は真っ二つに割れました。

部分講和は、米国を中心とした、当時西側と呼ばれていた親米の国々だけと講和条約を締結するという方法で、全面講和は、共産圏も含めた全ての関係国との講和条約

締結をめざすものでした。当時の社会党も割れ、結局、日本の戦後は片肺飛行でスタートしたわけです。

1950年6月には、朝鮮半島で朝鮮戦争が勃発し、南は米国を中心に22ヶ国からなる国連軍を編成しました。一方の北は、中華人民共和国が支援することが約束され、激しい戦いが続きました。

この戦争には、平和憲法を持つ日本も特別掃海隊などを派遣し、事実上参戦しました。もちろん参戦は、占領国・米国の指示によるものです。

開戦から3年後の1953年7月、国連軍と中朝連合軍は朝鮮戦争休戦協定に署名し休戦に至りましたが、朝鮮半島は北部の朝鮮民主主義人民共和国と南部の大韓民国の南北二国に分断されました。そして2019年の今日に至るも終戦とならず、休戦状態のままです。

日本は占領国である米国の指示に従い、憲法の禁を破って参戦したわけですが、戦争に必要な物資を有償で供給するという、いわゆる朝鮮戦争特需の利得を得ました。先の大戦で疲弊した日本は、この戦争特需で戦後復興のきっかけをつかみ、経済成長期へと移行していったわけです。

その後、池田内閣（1960年7月～1964年11月）は高度成長路線を邁進し、経済大国と言われるまでの発展を遂げました。

経済の豊かさを得た反面、日本は大きな代償を支払うこととなります。1951年、第二次世界大戦による連合国の占領を脱するため、講和条約締結と同時に、**日米安全保障条約**が締結されました。

時の総理大臣で、サンフランシスコ講和会議の吉田茂首席全権と米国との間で、「日本国とアメリカ合衆国との間の安全保障条約（日米安保条約）」が調印されました。

吉田茂自身、「この条約は余り評判が良くない」からと、同行の池田勇人蔵相には署名させなかったというエピソードが残っているといわれています。確かに評判だけでなく、日本という国のその後のあり方を大きく損ねた点で、問題条約だったことは確かです。

歴史に、「たら」「れば」はナンセンスですが、多くの日本人が、占領からの一日でも早い独立を望んでいました。全面講和か部分講和かの国内論議が尽くされたか否かについて、今の私は論評するだけの根拠を持ち合わせてないのですが、もし西側だけ

でなく当時のソ連、中国などアジア、中東諸国も含めた全面講和が実現していれば、「日本という国の形」は現在とは大きく異なるものになっていたことは間違いありません。

少なくとも、戦争をしない国づくりのため、憲法第9条の擁護・尊重は当然という国になっていたと思います。

### 〈日米安保条約の背景〉

日米安保条約は、「日本国との平和条約（サンフランシスコ条約、サンフランシスコ平和条約、サンフランシスコ講和条約などともいう）」の、次の条文を根拠に締結されました。

### 第五条

（C）連合国としては、日本国が主権国として国際連合憲章第五十一条に掲げる個別的又は集団的自衛の固有の権利を有すること及び日本国が集団的安全保障取極（ルビ：とりきめ）（ルビ：りす倶楽部編集部）を自発的に締結することができることを承認する。

### 第六条

（a）連合国のすべての占領軍は、この条約の効力発生の後なるべくすみやかに、且

つ、いかなる場合にもその後九十日以内に、日本国から撤退しなければならない。但し、この規定は、一又は二以上の連合国を一方とし、日本国を他方として双方の間に締結された若しくは締結される二国間若しくは多数国間の協定に基く、又はその結果としての外国軍隊の日本国の領域における駐とん又は駐留を妨げるものではない。



この二つの条文は、講和条約締結後、つまり占領が終了しても、引き続き日本の各地を米軍基地として使いつづけられるようにしたものです。朝鮮戦争の勃発が1950年6月なので、1951年9月8日に署名された日米安保条約が、米軍が日本から撤退しなくてはならない条約になるはずはありません。憲法は1947年5月3日に施行されましたが、米国占領中の1950年に警察予備隊が設置され、1952年の平和条約発効後、日本が主権を得て間もなく、保安隊として事実上の軍隊を持つに至りました。

こうして、日本国憲法第9条の不戦の誓いは、ことごとく踏みにじられました。

1960年日米安保条約の10年目の見直しの時には、60年安保闘争として、国論を二分した国民の蜂起がありました。時の総理大臣の岸信介さん（安倍総理の祖父）による強行採決で、安保条約の継続が可決されました。

この頃、私は大分県別府市の高野寺という寺で仏道修行中でした。師事した佐藤寛恵という師匠から、安保反対運動に参加することを戒められ、運動に参加することなく敗北感にさいなまれました。

師匠は、「今、君がすることは仏道を修すことだろう。社会は『人』と『人』が縁を紡ぐことで成り立っている。社会を良くするには、『人』一人ひとりがしっかりと意識を持つことだ。君はそれを志したのではなかったのか」と諭されました。

分水嶺ともいえる60年安保反対の行動を起こさなかった私に、今さら論評する資格があるのかと、自問自答することもありましたが、日本の米国属国化の根拠となつている日米安保条約の不当性は、訴え続けていかなければならないと思います。

# 〈タカ派で対米追従内閣は長命〉

戦後内閣の歴代首相の通算在職日数は

（2019年6月6日現在）、1位佐藤栄作、2位が現在の安倍晋三総理、3位吉田茂、4位小泉純一郎、5位中曽根康弘となつています。いずれも親米内閣で、思想的立ち位置は、靖國神社に参拝するだとか、民族主義的に見えますが、米国従属度の高い人々というのも、何やら変なことだと思いません。

これらの人々は、靖國神社参拝をアイデンティティの拠りどころにしているように私には思えるのです。現職の総理であつたり、過去に総理大臣を経験したりした方々が、英霊に何を報告し、何を祈っているのでしょうか。とても気になります。

先の大戦で命を喪つた人々は、命をかけて祖国日本を護り、戦いに敗れた後は、この国が平和で、国民が幸福感を味わえるような国にすることを、後世の私たちに託したと思います。

靖國神社に参拝した彼らは、敗戦から73年、今に至るも米国の属国から脱し切れずにありますと、懺悔（ざんげ）しているのでしょうか。

# 〈ハト派で米国に物申そうとする内閣は短命〉

短命内閣では、田中角栄内閣の場合、親中国路線が米国の虎の尾を踏んだのでしょ

うか。ロッキード事件で、米国の手により失脚させられました。

鳩山由紀夫内閣の場合もひどい話でした。当時の民主党は普天間基地の返還に当たって、「県外移転、最終的には国外移転を求めること」を政策としていました。

この問題では紆余曲折があり、日米首脳会談の開催を申し入れても、「立ち話程度なら…」といった具合で、日米関係はこれにこじれていました。

私は当時、日本国民の意思によって政権交代したのだから、基地問題についても改めて協議するのが民主主義のルールだと思つていました。

# 〈年次改革要望書って、知ってますか〉

皆さん、「日米規制改革および競争政策イニシアティブに基づく要望書」（通称「年次改革要望書」）を知っていますか。

宮澤喜一総理とビル・クリントン米大統領との会談で、最初に合意されたものです。

これは、米国の国益に重要なことで、日本にとってはそれが不都合且つ不利益、ことによれば日本の国の根幹に係るようなことでも、微に入り細を穿ち日本政府に指示した指示書のようなものです。



例を上げると、裁判員制度、法科大学院制度、外国（米国）の弁護士が日本での活動を容易にする制度改革、郵政民営化、労働者派遣法改正、著作権の保護期間の延長・強化、独占禁止法の強化、ホワイトカラーエグゼンプション（頭脳労働者脱時間給制度）等々があります。

これらについては単発で新聞報道されているので、ああこれもそうなのかと思いつた節があるかと思えます。

これは米国からの要望書に基づき、歴代内閣が米国の要望に沿うよう、日本の法律や制度を変えているのです。日本からも要望書を出してはいますが、実現したものはほとんどないそうです。

要望書は両国政府によって公開されており、米国政府から日本政府への要望書も英文・仮和訳（駐日アメリカ合衆国大使館による）が読めますので、お時間のある方は読んでみたいいかがでしょうか。

日本を愛する日本人なら、何でもこんなことまで外国の指図を受けなければならぬのかと、反吐（へど）が出そうな内容です。



例えば2004年10月14日付のものに、次のようなくだりがあります。

米国は、小泉総理大臣の思い切った経済改革の課題を強く支持しており、その課題への取り組みにより促された最近の日本経済成長を歓迎する。

本年の要望書において米国は、日本郵政公社の民営化計画が進んでいることを受け、勢いを増している日本における民営化の動きに特段の関心を寄せた。これに関して、日本経済に最大限の経済効果をもたらすためには、日本郵政公社の民営化は意欲的且つ市場原理に基づくべきだという原則が米国の提言の柱となっている。

この要望書の目次はこうなっています。

#### 提言の概要

電気通信

情報技術（ＩＴ）

エネルギー

医療機器・医薬品

金融サービス

競争政策

透明性およびその他の政府慣行

民営化

法務制度改革

商法

流通

#### 詳論

電気通信

情報技術（ＩＴ）

エネルギー

医療機器・医薬品

金融サービス

競争政策

透明性およびその他の政府慣行

民営化

法務制度改革

商法

流通

消費税引上げに伴うクレジットカード利用促進という政策も、実は米国からの要望実現の一つでした。

鳩山内閣はこの要望書を廃止しました。

米国は、日本の総理大臣には、米国の利益のために働いてもらわなければならないので、鳩山さんを一日も早く総理の座から引きずり降ろす必要があったのでしよう。「鳩山総理変人論」をでっち上げ、マスコミが

大合唱し、鳩山つぶしに成功しました。

私は、鳩山さんは日本という国を愛し、国益を守ろうとした、日本人としての誇りと矜持<sup>きようぢ</sup>を備えた人であると思っています。

安倍総理は「悪夢の民主党政権」などと公式の場で言いますが、政権党の党首であり、日本国の総理大臣がそういった言辞を弄するのは、あまりにも品位に欠けるのではないでしょうか。それを言うなら自民党政権は、「日本という国を売る売国奴政権」だと私は評します。

4年前の2015年9月に成立した平和安全法制の強行採決についても、安倍総理は事前に米国から指示を受けていて、何故でもこの法律を成立させ、憲法9条があつても米国の全ての要望に応えられるための準備をしたのでしょうか。

その結果、憲法9条を変えなくても、米国の要望は全て受け入れ実行できる法整備ができたのでしょうか、自民党結党以来の悲願で、今日まで実現できなかった大偉業(?)を俺の手でやるんだという安倍総理の魂胆を感じるのは、私だけでしょうか。

もしそうなら、そんな子どもじみた発想で、我が日本国の最高法規である憲法を変えられたのでは、たまったものではありません。

せん。即刻、総理の座から降りてもらわなければ、日本国と日本人にとって不幸であり悲劇です。

衆参同時選挙などと、たわ言をいっている人もいるようですが、自分の都合で神聖なる解散権を、オモチャの鉄砲を振り回すように使わせてはなりません。

参議院議員選挙は7月。こんな日本でも簡単に他国に移住するという訳にもいきませんので、良識ある有権者の力でこの国を少しでも良くする努力をしましょう。

とは言え、どう考えてもこの国がもっと良くなることは望みうすなので、これ以上悪い国にしない努力をするのが、限界といったところではないでしょうか。

下駄の雪などと揶揄され続けている公明党の党員、創価学会々員の皆さん、目を醒まして下さい。日本国憲法は世界人類の宝です。この宝を守るこそが、日本人の世界人類に対する責務です。

今年の夏の暑さは厳しいそうです。お体を大切に、元気で長生きしましょう。

※本誌今月号に、A4別紙「日本国憲法」を同封しています。ぜひお読み下さい。

## 5月31日に、戸籍法の一部を改正する法律が公布されました

今回の改正の中で、死亡届の届出資格者の拡大が行われ、従来の後見人、保佐人、補助人、任意後見人に加え、**任意後見受任者も死亡届を出せるようになります。**

りすシステムの死後事務の課題だった「誰が死亡届出人になれるか」という問題が、戸籍法改正という、りすにとって最高の形で決着しました。

現行の戸籍法第八十七条

左の者は、その順序に従つて、死亡の届出をしなければならない。但し、順序にかかわらず届出をすることができる。

- 第一 同居の親族
- 第二 その他の同居者
- 第三 家主、地主又は家屋若しくは土地の管理人

2 死亡の届出は、同居の親族以外の親族、後見人、保佐人、補助人及び任意後見人も、これを行うことができる。

今回の改正 (令和元年5月31日)

官報号外第23号より抜粋)

第八十七条第一項中「左の」を「次の」に改め、同項ただし書中「但し」を「ただし」に改め、同条第二項中「及び任意後見人」を「、任意後見人及び任意後見受任者」に改める。

# セコム・ホームセキュリティのご案内

日頃から健康や防犯に気を付けていても、突然何が起こるかわかりません。りすシステムが推奨する「セコム・ホームセキュリティ」は、24時間365日休みなく、あなたの「もしもの時」に対処します。救急通報、センサーによる安否見守りサービス・防犯・火災・非常通報等に対応し、電話の応答がない場合はセコム株式会社の緊急対応員がただちに駆けつけます。異常があった場合には119番と同時にりすシステムに連絡が入ります。いのちと暮らしを守るため「セコム・ホームセキュリティ」の設置をお勧めします。



## セコム説明会のご案内

東京

【日時】 7月15日(月) 12:30～13:00  
16:00～16:30

7月18日(木) 15:00～15:30

8月15日(木) 12:30～13:00

16:00～16:30

8月19日(月) 15:00～15:30

【会場】 NPOりすシステム 東日本支部 (本部)

東京都千代田区九段北 1-4-5 北の丸ガラスゲート 1F

【最寄駅】 東京メトロ半蔵門線・東西線・都営新宿線

「九段下」駅(3・5・7番出口) 徒歩5分

【日時】 7月12日(金) 10:00～11:00

8月12日(月) 10:00～11:00

【会場】 りすセンター・新木場 東京都江東区新木場 4-6-13

【最寄駅】 東京メトロ有楽町線・JR京葉線・高速りんかい線

「新木場」駅よりバス8分

※新木場駅から送迎の用意があります

※参加希望の方はご連絡ください

仙台

【日時】 6月30日(日) 12:00～

【会場】 NPOりすシステム北日本支部

仙台市青葉区中央 2-7-30 角川ビル 606号

【最寄駅】 JR「仙台」駅 徒歩5分

「あおば通」駅 徒歩3分

仙台市営南北線「広瀬通」駅 徒歩2分

※ご自由に参加ください

名古屋

【日時】 7月10日(水) 14:00～15:00

【会場】 NPOりすシステム中部日本支部

名古屋市中村区名駅 3-13-28 名駅セブンスタービル 1211

【最寄駅】 JR「名古屋」駅 徒歩5分

※参加希望の方はご連絡ください

大阪

【日時】 〈生前契約説明会終了後〉

7月7日(日) 15:30頃～

8月7日(水) 12:00頃～/15:30頃～

〈談話サロン終了後〉

8月23日(金) 14:15～15:00

【会場】 NPOりすシステム西日本支部

大阪市北区東天満 1-10-14 MF南森町 2ビル 4F

【最寄駅】 地下鉄谷町線/堺筋線 「南森町」駅 徒歩3分

JR東西線「大阪天満」駅 徒歩1分

※参加希望の方はご連絡ください



急病時などは、ペンダント型の「マイドクター」を握るだけで、救急信号がセコムに伝わります。



室内の人の動きをセンサーで確認。一定時間動きが確認できなければ、異常事態が発生したと判断し、セコムが対応します。



Xperia Hello! (エクスペリア ハロー) もう一人家族がいるような安心感で、声でセキュリティの操作もできる、コミュニケーションロボットです。

※別途ご購入頂くものとなります

磯貝 香也子  
(いそがい かやこ)  
アシスタント

■出身地:

埼玉県川口市

■趣味: ヨガ、旅行

■性格: 明るく

プラス思考

私たちが  
担当します!

土屋 美幸 (つちや みゆき)

■出身地: 埼玉県朝霞市

■趣味: 季節のお花めぐり、  
森林浴

■性格: 明るく

フットワークが良い



ご自宅でお困りごとやご不安はございませんか? セコム・ホームセキュリティで皆様の安心・安全な暮らしのサポートをいたします。使い方はとっても簡単! お気軽にご相談ください。

セコム・メディカルクラブ

耳より  
情報!

セコムでは契約された方への生活安心サービスとして「セコム・メディカルクラブ」を設けています。24時間365日豊富な経験を持つ看護師が対応する電話健康相談サービスや、医療機関情報の検索サービスなど、健康に役立つ情報を契約者の方々に提供しています。わざわざ病院に行くほどではないけれど、健康上のちょっとした不安があるときなど、このサービスをご利用ください!



## 《お知らせ》

どの支部の行事でも参加できます。事前に連絡ください。

### 東日本支部 暮らしのよろず相談会

▽日時.. 7月20日(土) 10時のみ

8月20日(火) 10時~15時

※毎月20日に行います

▽会場.. りすシステム東日本支部(本部)

北の丸ガラスゲート1階

▽担当..

森 妙子(消費生活アドバイザー)

生前契約スーパーバイザー)

松島如戒(不動産コンサルタント)

杉山 歩(りすシステム代表理事)

末藤康宏(りすネット不動産事業部 部長)

宅地建物取引士

福祉住環境コーディネーター)

▽締切.. 1週間前までにお申込みください

### 東日本支部 法律相談

▽日時.. 7月17日(水) 13時~15時

※8月はお休みです

▽会場.. りすシステム東日本支部(本部)

北の丸ガラスゲート5階

▽担当.. 長谷川範子 弁護士

▽締切.. 1週間前までにお申込みください



### 東日本支部 りすセンター・新木場見学会

▽日時.. 7月12日(金) 13時30分~

8月12日(月) 13時30分~

※毎月12日に行います

▽締切.. 前日までにお申込みください

※新木場駅から送迎の用意があります

※Ai(死亡時画像診断) 装置の見学もできます

### 西東京ランチ なんでも談話室

▽日時.. 7月9日(火) 13時~15時

▽会場.. りすシステム西東京ランチ

▽参加費.. 無料

▽定員.. 10名 予約をお願いします

※定員になり次第、締め切ります

※JR武蔵野線・新秋津駅、西武池袋線・秋津駅から送迎の用意があります

※お茶、お菓子をご用意します

### 西日本支部 談話サロン

▽日時.. 7月23日(火) 12時~14時

8月23日(金) 12時~14時

▽会場.. りすシステム西日本支部

▽参加費.. 500円(軽食をご用意します)

▽締切.. 3日前までにお申込み下さい

### 西日本支部 法律相談

▽日時.. 7月17日(水) 13時~15時

※8月はお休みです

▽会場.. りすシステム西日本支部

▽締切.. 1週間前までにお申込みください

※定員になり次第、締め切ります

### 大分支部 うたごえサロン

▽日時.. 7月22日(月) 13時~15時

▽会場.. カラオケLAGULA

▽参加費.. 600円

▽締切.. 7月19日(金)



熊本会場

### 生前契約説明会 私のおぼえがき講座

●会場: くまもと県民交流館パレア  
〒860-8554

熊本市中央区手取本町8番9号  
テトリアくまもとビル9階会議室9

#### ● 生前契約説明会

7月17日(水)

13時30分~15時(開場13時)

#### ● 私のおぼえがき講座

開催随時、要予約

施設見学会

【ゆいまゝる高島平】

高島平団地の空室を改修した、アクティブシニア向け〈分散型〉のサービス付き高齢者向け住宅です。見学後、懇談会（お茶・お菓子付き）があります。



▽日時：7月29日（月）13時30分～

▽住所：〒175-0082

東京都板橋区高島平2-26-3

さくら通り商店街103

▽参加費：無料 ▽定員：8名

【ゆいまゝる中沢】

高齢者住宅と医療・介護連携モデルとして、クリニック、訪問看護ステーション、小規模多機能、グループホームを併設しています。見学後、ゆいまゝる食堂で昼食をご試食いただきます。



▽日時：7月31日（水）10時30分～

▽住所：〒206-0036

東京都多摩市中沢2-5-3

▽参加費：無料 ▽定員：10名

※両日とも、定員になり次第締め切ります

※お申込みの方に詳細をお知らせします

第107回 日本水彩展

地方巡回展 鑑賞会 & お茶会



りす倶楽部の表紙画でおなじみ、福井大海先生にご案内いただく地方巡回展・鑑賞会です。絵画鑑賞後は先生を囲んでのお茶会を開催。りすシステム代表・杉山も全日程に参加します。お申込みの方に詳細をお知らせします。

参加費：1,000円（お茶代）

仙 7月8日（月）13時～  
台 会場：せんだいメディアテーク

名古屋 7月17日（水）13時～  
会場：愛知県美術館

広 8月9日（金）13時～  
島 会場：福屋八丁堀本店 8階催場

神戸 9月6日（金）13時～  
会場：兵庫県立美術館王子分館

松 9月20日（金）14時～  
山 会場：愛媛県美術館

熊本 10月2日（水）13時～  
会場：熊本県立美術館 分館



支部



活動記

北海道・北日本支部

▼ご夫妻でりすシステムと契約し、2012年にご主人を見送ったTさん（85歳・女性）から、「夫が亡くなり7年になります。お世話になった方々をお招きし、偲ぶ会を催したいので相談にのって欲しい」との依頼がありました。

Tさんと打ち合わせ、隠れ家の雰囲気が漂う一軒家のカフェを貸し切って、ご主人の写真の周りをたくさんのお花で飾りました。

料理はご主人の葬儀の際に通夜振る舞いで利用した、ケータリングを注文。

また、小唄の先生のTさんから小唄が披露され、姪御さんが準備下さったお土産を、参加の皆さんへお手渡ししました。

13名が参加された温かい手づくりの会で、ご主人との思い出話に花が咲き、Tさんとみなさんで、

今後もしよろしく願いますとの挨拶を交わして、散会しました。

東日本支部

▼自宅に一人で暮らすRさん（78歳・男性）が、深夜、自宅の階段から転落、自身でセコムへ連絡しました。

駆け付けたセコムの緊急対処員が救急車を手配、同時にりすシステムにも連絡が入り、りすセンタ―・新木場のスタッフが搬送先へ急行しました。

応急処置後、医師から、「一旦帰宅し、夜が明けたら外来を受診して下さい」と言われたので、その受診にも付き添いました。

幸い大事には至らなかったRさんから、「運ばれた病院に、すぐ来てもらって安心しました。付き添っていただき、ありがとうございました」とのお電話をいただきました。

▼先月末の未明、Uさん（73歳・女性）が亡くなったとの連絡が入院先の病院からあり、りすセンタ―・新木場からお迎え（遺体引取り）に出向きました。

霊安室に横たわったUさんのお顔は、持参した申出書のお写真より少し痩せてはいたものの、安らかな表情でした。

アルコ号（りすセンタ―・新木場保有のバン型霊柩車。アルコ「ARCO」とはスペイン語で虹を意味する arcobis が由来で、あの世とこの世の架け橋となるようにとの願いを込めています）にお連れしようとしたところ病院の職員から、「ちよつと待っていただけですか」と言われました。

聞くと、Uさんは生前この病院で看護師として勤務しており、Uさんを知る職員が焼香をしたいとのことでした。お待ちしている間、たくさん職員の職員が焼香に訪れ、生前のUさんの人柄が偲ばれました。

Uさんがりすシステムと契約し

たのは1年前のこと。看護師だったUさんは、自身に残された時間が分かっていたのか、病室の荷物を死後りに渡す物と、そうでない物にきちんと分けて整理していました。

現在、死後事務を進めています。Uさんとりすのお付き合いは短いものでしたが、死に支度の見事さに感銘を受けています。

Uさん、どうぞ安らかに。



中部日本支部

▼軽費老人ホーム入居時に、行政の紹介でりすシステムと契約したJさん（78歳・男性）。

ホーム入居後しばらくは、何ごともなく暮らしていましたが、元来お酒好きなJさんは、時々飲みすぎて施設から注意されるようになりました。度が過ぎると外出先で動けなくなり、施設はもちろん、りすシステムも何度か迎えに呼び出されたことがあります。





このままでは生活に支障が出る  
 ことに加え、健康への影響も懸念  
 されますので、本人、施設スタッ  
 フ、りすで話し合い、当分の間、  
 入院・加療をすることになりました。  
 た。

ところが、入院前検査で別の病  
 気の疑いが見つかったため、専門  
 病院を受診し検査することにな  
 り、付き添いました。

検査の結果、がんと診断されま  
 したが、本人の希望で積極的な治  
 療はしないことになりました。病  
 院のケースワーカーと相談しなが  
 ら、引き続きJさんをサポートし  
 ていきたいと思っています。

また退院後、これまで通りの  
 ホームの生活が続けられるかどう  
 か分かりませんので、介護認定の  
 申請をし、結果を待っています。

## 西日本支部

▼持病があるものの、訪問看護リ  
 ハビリステーションの看護を受け  
 ながら自宅で暮らしていたDさん  
 (80歳・男性)ですが、定期訪問

中の看護師から重篤な容態との連  
 絡があり、間もなくかかりつけ医  
 が診察し、死亡が確認されました。

マンション管理事務所へ連絡を  
 入れ、死亡届出人の依頼をしたと  
 ころ、分譲マンションの管理人は  
 家屋管理人に当たらず、死亡届出  
 人になることはできないとの回答  
 でした(管理事務所の管理は共有  
 場所のみで、各個室内は対象外と  
 のこと)。

そこで市役所の戸籍係に相談し  
 たところ、実のお兄さんの所在が  
 分かり、お兄さんに死亡届出人に  
 なってもらって火葬することがで  
 きました。

その後、自宅の貴重品引揚げ、  
 配食・新聞購読の停止等を行いま  
 した。また薬の誤服用防止のため、  
 服薬中だった持病の薬をかかりつ

け薬局に回収してもらいました。

Dさんは企画書に、納骨費用と  
 10年分の管理費を寺院へ納めるこ  
 と、部屋にあった位牌や過去帳の  
 お焚き上げを希望していることを  
 記していました。

この旨を住職に伝えたところ、  
 「10年後にどうするか、決めてい  
 ただきたいと思います。管理者不  
 在ということなら、墓石撤去費用  
 と合葬墓への納骨費用が新たに発  
 生します」とのことでした。

10年後のことを決めるには、費  
 用の問題もあり、相続人と話し合  
 う必要があるので、当面、遺骨を  
 りすシステムでお預かりすること  
 としました。

墓じまいや改葬については、  
 様々な手続きや費用が必要となり  
 ます。ご心配な方は相談下さい。

## 中国支部

▼本誌先月号で紹介した、Fさ  
 ん(75歳・女性)のその後です。

早期退職で年金が少なく、この  
 先の生活が心配になり、リバース

モーゲージを利用しようと銀行に  
 相談にいったFさん。そこで保証  
 人が必要といわれ、りすシステム  
 と公正証書契約を結んでいるこ  
 と、遺言を作成していることを伝  
 えました。

時間はかかったものの審査に通  
 り、りすシステム代表が出向いて  
 手続きする必要があるとのこと  
 で、東京支店で手続きできるよう  
 便宜を図ってもらい、手続き中  
 でした。リバースモーゲージ契約成  
 立後は現在住んでいる家を解体  
 し、建て替えを計画しています。

先日Fさんから、「銀行から、  
 リバースモーゲージ契約成立の返  
 事がきました！本部のみなさんに  
 ご足労をおかけしご心配いただき  
 ましたが、ホッとしています。家  
 の解体は7月の予定。家が建つま  
 で銀行が紹介してくれた借家に  
 引っ越すので、保証人をお願いし  
 ます」とのFAXをいただき、お  
 電話を入れました。

Fさんは、「家が建ったら登記  
 し、公正証書を書き換えます。家

## 四国支部

の持ち主は銀行になります。公正証書換えの件を銀行の支店長に話したところ、『家の持ち主が銀行になる旨を公正証書に一筆書き加えてほしい。その部分だけでよいので、コピーをもらいたい』と言われました」とのことでした。

今回、審査が長引いた理由として支店長から、「公的年金だけで生活している、土地が変形しているというだけでなく、相続人のいない方のケースは初めてだったので、時間をかけ協議を重ねました」との説明があったそうです。

Fさんは、「銀行にとつて、りすシステムの存在は大きかったと思います。公正証書の重みが身に沁みました。今後、相続人のいない高齢者が増えると思います。そういった高齢者と銀行双方にとつて、りすのような存在はなくてはならないものだと思います」と言われました。



▼Eさん（61歳・男性）から、

「10年ほど前にりすシステムと基本契約を結び、そのままになっていました。歳をとったこともあり、きちんと最後まで契約を進めたいと思っています。自宅に出張していただくことはできますか」との依頼がありました。

出張説明の場合は、費用と交通費の実費が必要になる旨をお伝えしたところ、了承いただき、「申し込んだ10年前はまだ若く、特に不安を感じていませんでしたが、従弟や叔父叔母が遠方にいることもあって、万一の場合が心配です。今のままでは契約家族のサービスを受けることができないので、次のステップに進もうと思いましたが」とのことでした。

四国支部（松山）は中国支部（広島）のアドバイザーが兼任しているので、Eさん宅までの交通手段を調べたところ、松山から行く場合と広島から行く場合とで、所要

時間と交通費に大差ないことが分かりました。

そこで、広島から高速バスで伺う旨をEさんに伝えたところ、「広島からも近いことが分かり、安心しました」とおっしゃって下さいました。

「10年前とは考え方が変わった部分もあるので、提出している書類も書き換えたいと思います。アパート経営をしていて、税金の申告や不動産の手続き等を行っていますが、歳を重ねるうちに、それができなくなるかも知れません。業務を手伝ってもらうことは可能でしょうか」と聞かれたので、依頼があれば対応可能な旨を伝えました。

出張説明の際に、じっくりとお話をお聞きしたいと思います。

## 九州支部

▼本誌第266号・2018年11月号で紹介したYさん（62歳・女性）のその後です。

40代後半にりすシステムと契約

し、お母様と一戸建てで暮らしていましたが、昨年お母様が亡くなりました。

当初は慰めの言葉も見つからないほど消沈していたYさんですが、時の経過とともに落ち着いて生活を再開し、その後、契約内容の見直しを行いました。

そんなYさんの次なる目標は住まいのこと。住み慣れた一戸建てをリフォームして住み続けるか、マンションを購入するか、あるいは早めに有料老人ホームへ入居するかを検討しています。

先日Yさんから、「施設見学に行ってみようと思います。お勧めの施設はありますか」との相談がありました。りすで身元引受保証をしている施設はいくつもありますとお伝えし、まずは入居一時金、毎月の費用負担の上限をお聞きしました。

Yさんの希望は、「自宅と二重生活になりそうなので同じ市内にあり、趣味が活かせて、必要な広さがある施設」とのこと。希望の

条件を満たした施設の資料を取り寄せ、お送りすることとしました。

Yさんは、「まだ62歳だからゆっくり探したいという気持ちと、自分でいろんなことが決められ、自分で引越しができるうちに、どうかにかしておきたい気持ちとの狭間で揺れ動いている」そうです。

今後も契約家族として、Yさんの気持ちに寄り添っていきます。

▼Sさん（60歳・女性）は、今年2月にりすシステムに契約の申込みをし、5月に公正証書を作成しました。

自己所有の一戸建てに一人で暮らし、日課として、要介護5で特別養護老人ホームに暮すお母様を訪れ、食事やオムツ交換などの手助けをしています。

Yさんは、「きょうだいがいまですが、母のことは最期まで私が世話をして看取ります。そして私自身のこと、りすさんに託します」とおっしゃっています。

▼Kさん（63歳・女性）は、自立されているお母様と一戸建てで暮ら

しています。今年3月にりすシステムと基本契約し、各種書類の作成もスピーディーにすませ、5月に公正証書を作成しました。

「母娘で入れる施設を、2年くらいかけてゆっくり探してみようと思います」とおっしゃるKさんにも、きょうだいがいいますが、契約家族としてのりすシステムにこれからのことを託されました。

今後、希望に合った施設情報などをお知らせしていきます。



## 大支部

▼本誌で数回（第250号2017年4月号、254号2017年9月号、261号2018年5月号）ご紹介してきた、Mさん（92歳・男性）と奥さん（87歳）のその後です。

新聞記者として、長年地方の新聞社に勤務したMさんは、その新聞に掲載されたりすシステムの記事がご縁で10年前にりすと契約。その5年後、Mさんの申立てにより、りすが認知症の奥さんの後見人になりました。

そんなMさんが2年前、自宅の階段から転落して頸椎を損傷し、生活全般の介助が必要になりました。その結果、戸建の自宅での夫婦二人暮らしが困難となり、住宅型有料老人ホームに転居して、訪問診療、看護、介護支援サービスを受けながら、車椅子の生活をスタートしました。

Mさんの入院中、奥さんは特別養護老人ホームのショートステイを利用していました。

Mさんは施設に入居当初、体が思うように動かず、無気力な言動を繰り返し、食欲不振、不眠状態で、一時は医師から余命の宣告をされるほどでした。

しかし、奥さんがMさんと同じ施設に入居できることとなり、M

さんを夫と認識できないものの、「早よ、よくならんとね」などと励ましの言葉をかけていたのがMさんの生きる力となったのか、奇跡的に回復しました。

その後自宅を売却したMさんは、36年間お世話になったご近所に、車椅子で一軒ずつ挨拶に回りました。自治会長によると、Mさんからの寄附金で、緊急避難用車椅子を2台購入できたそうです。

また、「地球に恩返し基金」にも寄附をいただきました。

その後も奥さんと二人、穏やかに暮らしていたMさんでしたが、今年に入ってから精神的に不安定になり、気力、体力ともに低下してきました。

自身でそれを分かっていたMさんから、「菩提寺の納骨堂のほかに、功德院にも分骨してほしい。お世話になったりすシステムと死後も関わっていたい」との依頼があり、手続きをしました。

4月末になり、血圧も下がり、目ざめないことも多くなっていた



# みんなで歌おう ARCO倶楽部

お待たせしました！

第4回「ARCO倶楽部」開催のお知らせです。今回も、りすシステム大分支部から〈歌のプロ〉丸本が参加し、指導いたします。みなさん、一緒に歌いましょう！



**日時** 7月19日(金) 14時半～17時  
(延長可能)

**会場** カラオケスナック RAKU-RAKU  
千代田区飯田橋1-6-8 三友ビル1F

**参加費** 1,500円(カラオケ・飲食代)

**定員** 15名(定員になり次第、締め切ります)

※お申込みの方に詳細をお知らせします

Mさんが息を引き取ったのは、令和元年5月1日の早朝のこと。  
大正、昭和、平成、そして令和  
四代に亘ったMさんの人生の幕が下りました。  
信仰心の厚かったMさんの通夜、葬儀には、知人や施設スタッフ、ケアマネージャーなど、たくさんの方がお別れに訪れました。  
菩提寺の住職からは、「Mさん夫妻には子どもがおらず、自分たちの今後のことをきちんと決め、りすシステムに託しておられました。今日は、そのりすシステムの

方も来ていらつしやいます…」と、りすのこともお話しいただきました。  
奥さんは、「順番やからね」「ずらんとね(※)」と最期までMさんを励まし続け、葬儀では一心にお念仏を唱えておいででした。  
Mさん、奥さんのことは今後も見守っていきますので、どうぞ安心してお眠りください。  
※ずる…大分の方言。物事が何事もなく進むさま。車が渋滞して進まない状態のことを「一寸ずり」という。



2019年6月6日 北海道支部  
例会 〈レストラン ダフネ〉



## 2019初夏 写真館



2019年5月8日 シイタケのコマ打ちと香りの教室 〈千葉・吉四六村〉



2019年5月18日 シイタケのコマ打ち 〈大分・地球に恩返し森〉



## 地球に恩返しTシャツ・ポロシャツ



人気のカラーです！



カラフルでかわいいロゴ付きの〈特製Tシャツ・ポロシャツ〉です。お買い上げ金額の一部を、りすシステムから「地球に恩返し基金」へ寄附いたします。ご協力よろしくお願いいたします。通信販売も承ります。ご希望の方は0120-889-443までご連絡下さい。

### Tシャツ

■定価：2,000円（税・送料込み） ■サイズ：S・M・L  
■カラー：ホワイト・ピンク・イエロー・ライトグリーン・ライトブルー

### ポロシャツ

■定価：2,500円（税・送料込み） ■サイズ：S・M・L・LL・3L  
■カラー：ピンク・ネイビーブルー

## 地球に恩返し運動について

私たちの生命を育んでくれている地球!! このやさしい地球に少しでも恩返しをして、次世代に美しい地球を残しませんか。皆さまのご寄附で「地球に恩返しの森」に植樹ができ、銘板にあなたのお名前が刻まれます。

※匿名希望の方は、振込用紙の「通信欄」に「匿名希望」と、ペンネーム希望の方は「ペンネーム」を明記の上、「ご依頼人欄」には必ずお名前をご記入ください。



NPO りすシステム  
NPO 地球に恩返しの森づくり推進機構

**地球に恩返し運動本部**

連絡先：TEL.03-5215-2383

### 地球に恩返し 基金振込先

#### ● 郵便局から振り込む場合

郵便局口座番号：00140-7-743432  
加入者：地球に恩返し基金

#### ● 他行からゆうちょ銀行に振込む場合

店名：〇一九（ゼロイチキュウ）  
種目：当座 口座番号：0743432  
加入者：地球に恩返し基金



## 「地球に恩返し基金」に寄附をいただき、ありがとうございました

有賀 富士子さん（東京都板橋区）  
小池 静さん（東京都練馬区）  
坂上 芳夫さん（東京都板橋区）  
高橋 忠司さん（東京都豊島区）

藤田 淳子さん（東京都渋谷区）  
村岡 彌太郎さん（大分県大分市）  
村岡 美代さん（大分県大分市）  
渡邊 潔さん（栃木県日光市）

50音順



※ 2019年5月1日～5月31日の期間、8名の方から寄附をいただきました。

※ 藤田 淳子さんと 渡邊 潔さんが 1000 ポイントを達成されました。





## ● なんでも談話室 ●

◎なんでも談話室は、開催時間中ならいつでも自由に参加できます。

北海道支部	日時：7月6日(土) 11時～15時 日時：8月6日(火) 11時～15時	会場：北海道支部事務所 会場：北海道支部事務所
北日本支部	日時：7月30日(火) 11時～15時 日時：8月30日(金) 11時～15時	会場：北日本支部事務所 会場：北日本支部事務所
東日本支部	日時：7月18日(木) 11時～15時 日時：8月19日(月) 11時～15時	会場：北の丸ガラスゲート1階 会場：北の丸ガラスゲート1階
中部日本支部	日時：7月10日(水) 13時～15時 日時：8月10日(土) 13時～15時	会場：中部日本支部事務所1211号室 会場：中部日本支部事務所1211号室
中国支部	日時：7月6日(土) 13時～15時 日時：8月3日(土) 13時～15時	会場：中国支部事務所 会場：中国支部事務所
四国支部	日時：7月25日(木) 13時～15時 日時：8月25日(日) 13時～15時	会場：四国支部事務所 会場：四国支部事務所
九州支部	日時：7月29日(月) 13時～15時 日時：8月29日(木) 13時～15時	会場：九州支部事務所 会場：九州支部事務所
大分支部	※7月22日(月)はうたごえサロンです。詳しくは12ページのお知らせをご覧ください。 日時：8月22日(木) 13時～15時 会場：大分支部事務所	

## ● 談話サロン ●

西日本支部	日時：7月23日(火) 12時～14時 日時：8月23日(金) 12時～14時	会場：西日本支部事務所 詳しくは12ページ参照 会場：西日本支部事務所 詳しくは12ページ参照
-------	--	--

## ● 生前契約説明会・私のおぼえがき講座 ●

支部	電話番号	生前契約説明会		私のおぼえがき講座	
北海道支部	011-756-4165	5日(1月休み)	13:30～15:00	随時開催	
北日本支部	022-797-2072	2日(1月休み)	13:30～15:00	随時開催	
東日本支部	0120-889-443 03-3511-3277	10日 会場：九段下	11:00～13:00 14:30～16:30	15日 会場：九段下	11:00～12:30 14:30～16:00
		24日(3・9月休み) 会場：巣鴨	13:00～15:00		
		7月4日、8月6日 会場：横浜	10:30～12:30	7月26日、8月26日 会場：横浜	10:30～12:30
中部日本支部	052-569-2254	25日	13:00～15:00	随時開催	
西日本支部	06-6809-2289	7日	10:30～12:00 14:00～15:30	26日	10:30～12:00 14:00～15:30
中国支部	082-568-1585	28日	10:30～12:00	随時開催	
四国支部	089-933-5670	25日	11:00～12:30	随時開催	
九州支部	092-738-2718	24日	13:30～15:00	随時開催	
大分支部	097-538-6263	27日	13:30～15:00	随時開催	

※くまもと県民交流館パレアでも「生前契約説明会」「私のおぼえがき講座」を開催します。詳しくは12ページを参照ください。

例会・見学会・談話サロン・法律相談のお申込み先

 0120-889-443

生活支援テレホン

 0120-332-206

24時間365日いつでも りすセンター・新木場

 0120-373-959 (海外からご利用の場合) +81-3-3522-5660